

「第2学期終業式」

- 12/21(金)の本日、第2学期終業式で、以下の話をしました。
- 大きな行事の誠樹祭、強歩大会、合唱祭では、たくさんの保護者の方・地域の方が参観した。これは、生徒に期待しているから。
 - 努力、協力、思いやり等、自分のために、友だちのために、がんばっている姿が、たくさんの感動を与えていたこと。
 - 来校していただいたお客さんが、玄関や廊下ですれ違うたびにあいさつする生徒について、ほめていたこと。
 - 待ちに待った冬休みでは、クリスマス、暮れ、正月、初詣と、地域の行事や伝統の行事等をいっぱい楽しむこと。
 - 3年生は、進路に向けてがんばること。
 - 1、2年生は、新年を機会に、ただのいい人ではなく、人の役に立ついい人に変身すること。
 - そして三大流星群のひとつ「しぶんぎ座流星群」を観察できること
- 〈詳細観察方法〉
- ・1/3(木)午後11:00頃～翌朝5:00頃がピーク
 - ・1時間に20～30個以上流れる
 - ・昨年より好条件である
 - ・とても寒いので防寒する
- 新たな年が、双葉中生にとって、すばらしい年となるように、流れ星に願掛けをしたいと思います。



「新年に向けて」 ～修養は最も必要な学び～

教師として人を教育するためには、常に学び続けなければなりません。教師仲間の言葉で「授業や指導法の研究をして、子どもを変える・成長させる」と口にする教師をよく見かけます。本当にそれでいいのでしょうか。

「教師である自分自身を変える・成長させる」ための修養に、日々努めるのが、本当の教師の姿なのではないかと思えます。

「他者改善」ではなく「自己改善」としての学びを得るべきであり、「生徒に何を伝えるか」ばかりを考えるのではなく、「自分自身に何を伝えるか」をよく考えることが大事だと思います。

そして、「授業のやり方」だけでなく「自分のあり方」を問うような教師でありたいと思えます。

修養とは「知識を高め、品性を磨き、自己の人格形成に努めること」です。これこそ、教師に最も必要な学びであると思えます。

新年を機会に、学び続ける教師として、自分自身を見つめ直す「修養」に努めて参りたいと思えます。

〔教育基本法 第九条〕

法律に定める学校の教員は、自己の崇高な使命を深く自覚し、絶えず研究と修養に励み、その職責の遂行に努めなければならない。



表彰等

税についての作文 納税貯蓄組合連合会学校賞 甲斐市立双葉中学校
納税貯蓄組合連合会優秀賞

群馬チャレンジカップサッカー大会 準優勝

社会を明るくする運動作文 甲府保護観察所長賞

教育祭美術展	県特選	3年	3年	2年	1年
	中巨摩特選	3年	3年	3年	3年
		3年	2年	2年	2年
		2年	1年	1年	1年
		1年			

山梨県教職員囲碁大会 優勝(全国大会出場)

「チーム双葉中」

教職員40名 生徒450名 保護者407名が

「チーム双葉中」として取り組んでいます。

学校住所：〒400-0106 甲斐市岩森1337

電話：0551-28-2019 FAX：0551-28-5689

ホームページ <http://www.city-kai.ed.jp/fchu/> も併せてご覧ください。